

天使大学大学院 看護栄養学研究科

TENSHI COLLEGE GRADUATE SCHOOL OF
NURSING AND NUTRITION

2025



愛をとおして真理へ

看護学専攻 (博士前期課程 / 博士後期課程)

栄養管理学専攻 (博士前期課程 / 博士後期課程)



天使大学

看護栄養学研究科

〔看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)／栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)〕

高度な専門知識と倫理観を備えた
教育者と研究者を育成するために。
「新しい看護」の実現を目指して、
看護学専攻博士後期課程を開設しました。

日本は今、経験のない超少子高齢化時代と対面しています。中でも北海道は人口減少が著しく、全国を上回るスピードで都市部と地域の二極化が進み、保健医療福祉サービスを取り巻く社会構造を根本から見直す転換期に差しかかっています。誰もが元気に育ち、健やかな生活を送り、心地よく歳を重ねられる支援。新しい看護や保健のあり方、住民サービスを考えるには、看護職や栄養専門職の力が必要です。それは同時に、みなさんが現場で直面している課題を解決する機会とも捉えられるでしょう。一人ひとりの力と技術を合わせ、クリエイティブな医療、地域サービスを創り出さねばなりません。

課題解決を目指して前へ進むには、博士号を持ち、研究する力が必要です。国のシステムそのものを変革するには、調査結果や研究データのエビデンスが不可欠だからです。今の日本に求められているのは、他国を手本とせず、国内の現状に即したシステムづくり、すなわち研究者の育成といえます。本学では、リカレント教育の場である大学院の看護栄養学研究科に、2024年度から新たに看護学専攻博士後期課程を設置しました。目指しているのは、保健・公衆衛生分野に対応する「地域基盤看護学」と臨床的な課題に対応する「実践看護学」分野における、高度な専門知識、いのちと向き合う倫理観を備えた教育者・研究者の養成です。看護学博士後期課程のカリキュラムでは、キリスト教の人間観に基づく「生命倫理特論」を必修科目としたほか、社会の変化に対応する「データサイエンス演習」も選択科目に取り入れました。また、大学院全専攻で自律的に研究が進められる指導体制を整え、仕事を続けながら平日夜間や土曜日に受講できる仕組みや、「長期履修学生制度」も用意しています。保健医療の利用者と多職種、地域と医療、人と人とのつなぎ役として活躍しているみなさんの経験と力を、大学院の研究を通して、看護学・栄養学の発展と日本の未来づくりにつなげてください。

看護栄養学研究科長
日沼 千尋

教育理念

天使大学大学院看護栄養学研究科は、カトリック教育機関として「愛をとおして真理へ」を建学の精神としています。本研究科はこの建学の精神のもと、看護学・栄養学の各専門分野における高度な専門職業人、教育や専門分野のリーダーとなる人材を育成するとともに、人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせた学修を通して、地域住民の保健・医療・福祉の発展に寄与します。

教育目的

天使大学大学院看護栄養学研究科は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の理論及び応用を教授研究し、建学の理念であるカトリック精神に基づく「愛をとおして真理へ」に生き、知的、専門的及び応用的能力を発揮して、人間愛をもって社会の発展に寄与する高度専門職業人を育成することを目的とします。

- 人材養成に関する目標を次のとおり定めます。
- (1) 看護学専攻修士課程においては、看護学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
 - (2) 栄養管理学専攻博士前期課程においては、栄養管理学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
 - (3) 栄養管理学専攻博士後期課程においては、栄養管理学に係る先端的教育及び研究を行うことにより栄養管理学の高度の専門知識と技術を教授し、自立して研究活動を行い、卓越した教育上の指導能力を有する人材を育成する。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

看護学専攻【博士前期課程】

1. 専門分野の基礎的な知識と技術を有する人
2. 高度な専門職業人として専門分野の発展や社会に貢献する意欲のある人
3. 人間として専門職業人としての倫理観を有する人
4. 専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. 論理的思考と柔軟な発想、グローバルな視点を持って探究できる人
6. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人

看護学専攻【博士後期課程】

1. 看護学を探究するために必要な基礎学力・研究力を有する人
2. 専門職業人として高度な実践、看護学の発展に貢献したい人
3. 自身の考えを表現し、他者と協働するコミュニケーション能力を有する人
4. 専門職業人としての高い倫理観を探究し、人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士前期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献したい人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を志す人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を探究したい人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士後期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献できる基礎的な能力を備えている人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を行う意思のある人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を備えている人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力を備えている人
5. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人

INDEX

看護学専攻	
博士前期課程	03
【修士論文コース】	03
・基礎看護学領域	
・成人看護学領域	
・老年看護学領域	
・母性看護学領域	
・小児看護学領域	
・精神看護学領域	
・公衆衛生看護学領域	
【高度実践看護師コース】	06
・ホスピス緩和ケア看護学領域	
・老年看護CNS領域	
・精神看護CNS領域	
・在宅看護CNS領域	
【保健師コース】	08
博士後期課程	10
栄養管理学専攻	
博士前期課程	11
博士後期課程	14
論文テーマ	15
教員紹介	16
働きながら大学院に通いたい方へ 就職先	
長期履修学生制度	17
学費・奨学金	18

看護学専攻

博士前期課程 | 博士後期課程

- 修士論文コース
- 高度実践看護師コース
- 保健師コース

博士前期課程〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名

博士後期課程〈修業年限〉3年 〈学位〉博士(看護学) 〈入学定員〉2名

「修士論文コース」

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論・分析・評価力を持ち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をととして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

基礎看護学領域

実践の科学である看護学を看護の基本概念から捉え直し、看護とは何か、看護実践とは何かを明確にすることを目指します。看護の臨床現場や看護学生・新人看護師を育成する臨床教育の場に埋め込まれている看護現象の省察を通して、看護の本質に触れながら、看護の対象者の理解、質の高い看護実践および看護技術の探求、実践知への理解を学びます。修士論文では、看護実践の中に立ち現れる様々な疑問、戸惑いなどについて、個々の関心に応じた探究を行います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

成人看護学領域

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護学領域

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

母性看護学領域

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全なくらしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性と科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※2024年度入学生については募集いたしません。

小児看護学領域

少子化が進む我が国において、核家族の増加や片親家族の増加、育児不安等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気など子どもの育ちの課題が増えている。小児看護領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護学領域

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか。自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

公衆衛生看護学領域

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師及び保健師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	基礎看護学領域	基礎看護学特論I 基礎看護学特論II	基礎看護学演習I 基礎看護学演習II
	成人看護学領域	成人看護学特論I 成人看護学特論II	成人看護学演習I 成人看護学演習II
	老年看護学領域	老年看護学特論I 老年看護学特論II	老年看護学演習I 老年看護学演習II
	母性看護学領域	母性看護学特論I 母性看護学特論II	母性看護学演習I 母性看護学演習II
	小児看護学領域	小児看護学特論I 小児看護学特論II	小児看護学演習I 小児看護学演習II
	精神看護学領域	精神看護学特論I 精神看護学特論II	精神看護学演習I 精神看護学演習II
	公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学特論II	公衆衛生看護学演習I 公衆衛生看護学演習II
		特別看護研究	

〈修了要件〉30単位以上

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。



修了生

看護学専攻
博士前期課程 基礎看護学コース

一歩を踏み出す勇気はいつからでも

私は天使大学を卒業後、実践家として働いてきました。医療の進歩や高齢化が加速する昨今では、病院の形態も様変わりをしています。私は諸先輩に教えていただいた「看護」を後輩へ伝承していくことに、うまく伝承できない自分にもどかしさを感じていました。迷いながらも看護師を続けていましたが、「大好きな看護師の仕事をもっと好きでいて欲しい」という家族の言葉が私の背中を大きく押ししてくれました。私にとっての大学院への進学は、自分のもどかしさと向き合う自分探しの時間になりました。自分と向き合い、今までの看護実践を理論と合わせて学び深めることができました。当初、大学院進学を自分には、敷居が高いと考えていましたが、看護が好きな自分を改めて実感することができ、長い人生の中で大切な時間になりました。あらゆる環境や条件を吟味しなければいけないと思いますが、一歩を踏み出す勇気を諦めず、自己研鑽していく時間として考えてみてください。「天使」は、その一歩を応援してくれる大学院です。

【高度実践看護師コース】

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

多数の修了生が「専門看護師」として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生19名が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。なお、老年看護CNS領域は2019年度、精神看護CNS領域は2020年度に、在宅看護CNS領域は2023年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力を養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識の修得のために、課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。
- ・基礎的知識の修得のために、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。

ホスピス緩和ケア看護学領域 〈取得可能資格〉がん看護専門看護師 受験資格

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、ホスピス緩和ケア分野で高度実践看護師を養成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師のことです。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護CNS領域 〈取得可能資格〉老人看護専門看護師 受験資格

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における高齢者への質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成が不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとケアを統合した看護実践能力を提供する高度実践看護師を養成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護CNS領域 〈取得可能資格〉精神看護専門看護師 受験資格

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

在宅看護CNS領域 〈取得可能資格〉在宅看護専門看護師 受験資格

疾患や障がいを抱え在宅で療養生活を送る対象者と家族が、個々の生活の場で日常生活を送りながら在宅療養を続けるためには、地域包括ケアから地域共生社会へ向け、既存のケアサービス事業所および多職種との連携が欠かせません。在宅看護・ケアの質向上を目指し、専門看護師の6つの役割(卓越した看護実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を果たし、ケアとケアを統合した支援ができる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム

区分		科目		
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論	疫学 地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済	国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究)	看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I 看護教育学特論II	看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学	保健医療福祉政策論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論	環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
ホスピス緩和ケア 看護学領域	専門分野 専門科目	ホスピス緩和ケア看護学特論I ホスピス緩和ケア看護学特論II ホスピス緩和ケア看護学特論III ホスピス緩和ケア看護学特論IV	ホスピス緩和ケア看護学特論V ホスピス緩和ケア看護学演習I ホスピス緩和ケア看護学演習II ホスピス緩和ケア看護学演習III	ホスピス緩和ケア看護学実習I ホスピス緩和ケア看護学実習II ホスピス緩和ケア看護学実習III
		ホスピス緩和ケア看護課題研究		
老年看護 CNS領域	専門分野 専門科目	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III	老年看護学特論IV 老年看護学特論V 老年看護学展開論I	老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
		老年看護課題研究		
精神看護 CNS領域	専門分野 専門科目	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV	精神看護学演習I 精神看護学演習II リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I	高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
		精神看護課題研究		
在宅看護 CNS領域	専門分野 専門科目	在宅看護学特論I 在宅看護学特論II 在宅看護学特論III 在宅看護学特論IV	在宅看護学演習I 在宅看護学演習II 在宅看護学演習III 高度実践在宅看護学実習I	高度実践在宅看護学実習II 高度実践在宅看護学実習III 高度実践在宅看護学実習IV 高度実践在宅看護学実習V
		在宅看護課題研究		

〈修了要件〉必修科目38単位

本コースを修了することにより、日本看護協会が行う認定審査の受験資格を得ることができます。
本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

がんと看護専門看護師として活動する修了生



社会医療法人 嶺心会 札幌嶺心会病院

緩和ケアチームの看護師として勤務しています。症状緩和に関する薬剤調整や精神的苦痛への介入などの依頼に対して、速やかに対応が図れるようチーム内・多職種間の調整を行っています。

在宅ホスピス専門の診療所に在籍し、地域の訪問看護師さんの訪問に同行するなど、連携の強化とケアの質向上に取り組んでいます。また緩和ケア外来を訪れる患者さんの療養について医師・MSWと協働して支援しています。



医療法人 徳洲会
在宅緩和ケア診療所
ホームケアクリニック札幌

がん患者家族や医療スタッフから相談を受けた方の心身のつらさへの対応や治療方針や今後の過ごし方を決めるための支援などを行っています。活動の際には、医療スタッフとのケア協働を意識しスタッフへの教育支援も兼ねて行っています。

JA北海道厚生連 札幌厚生病院

※MSW 医療ソーシャルワーカー

保健師コース

保健師コース

〈取得可能資格〉保健師国家試験受験資格

本コースにおける所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すると、**修士(看護学)**の学位が与えられ、**保健師国家試験受験資格**を取得することができます。本コースに出願するには、**看護師の免許**が必要です(取得見込も可)。

※長期履修学生制度の利用はできません。

地域で暮らす人々の健康と生活を護るために高い実践力を備え、
分析力・研究力、政策提言に優れた保健師を養成します。

保健師教育の質の向上が求められています

急速な少子高齢化や疾病構造の変化、地方分権の進展などの社会の変化に伴い、保健師には多様で複雑困難な健康課題を解決する公衆衛生看護の高い実践力が求められています。社会のニーズに応じ地域の課題を解決するための施策を展開する分析力と政策形成力のほか、自然災害や感染症といったあらゆる健康危機に対応する能力を強化する必要性がより一層高まり、2022年度からは指定規則改正に伴い保健師の資格取得に必要な単位数がさらに増加しました。天使大学では、あらゆる健康課題に対応できる能力の獲得を目指し、より充実した教育を提供するため大学院に保健師教育課程を設置しています。保健師として自信を持って働くために大学院への進学をお勧めします。

専門性の高い実践力を身に付けた保健師を養成します

地域の健康課題は複雑化し、生活習慣病、介護予防、児童虐待、メンタルヘルス、感染症、自然災害、健康格差など様々な対策が求められています。保健師には、これらの課題に取り組み立ち向かうための高度な知識と技術が必要であり、「個人・家族、集団を支援する力」と同時に、人々の健康課題の背景にある地域の課題を分析し、住民とともに解決する「地域を支援する力」の両方の実践力が求められます。大学院は2年間で、講義、演習、実習、研究を積み上げ、理論と実践を統合させ、現場の課題を探索できる実践力・研究力のある保健師を養成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に、公衆衛生看護専門職としての倫理観を備え、公衆衛生看護実践ができる。
- ・科学的根拠と文化的感受性をもってコミュニティの健康と環境の課題を明らかにできる。
- ・人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題の解決のために関係者と連携・協働してマネジメントできる。
- ・グローバルな視点で将来を見据えて地域ケアシステムを評価し、政策を提言できる。
- ・保健師の責務を遂行するための科学的論理的思考、基礎的研究能力を備え、公衆衛生看護の課題解決に自ら取り組むことができる。



カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学習するプログラムを提供する。
- ・人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論	代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護活動論I 公衆衛生看護活動論II 健康学習支援特論 家族看護学特論 公衆衛生看護診断 公衆衛生看護管理	健康危機管理特論 産業・学校保健活動論 地域ケアシステム論特論 公衆衛生看護課題研究演習 家族看護継続実習 公衆衛生看護活動実習 公衆衛生看護管理実習I 公衆衛生看護管理実習II
		公衆衛生看護課題研究	

〈修了要件〉61単位(30単位(修士課程修了に必要な単位)+31単位(保健師国家試験受験資格取得に必要な単位))



修了生

看護学専攻
保健師コース2020年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
栗山町 住民保健課 健康推進グループ

豊かな学びができた2年間でした

天使大学学部生の頃、保健師という地域の身近な存在でライフサイクルを通して住民へ関わる仕事に興味を持ちました。保健師資格が取得できる進学先を調べる中で、実践的なカリキュラムはもちろん、豊かに専門科目や研究が学べる大学院に魅力を感じて進学しました。

大学院では、他大学から保健師コースへ進学してきた方、社会人経験をした他コースや栄養管理学専攻の院生とも講義・研究などで刺激を受けました。また、実習地の保健師を始め、保健所や市町村、企業や学校等多様な場で活躍する保健師の方々から様々な活動を見聞きすることができました。課題研究では、実習や講義で女性のライフスタイルの変化に興味をもち、高齢出産をした女性の育児をテーマにインタビューを行い、分析に四苦八苦しながらも、論文にすることができました。大学院ではたくさんの人に助けられて、充実した時間を送れました。

大学院での学びの中で、顔の見える保健活動ができ、町全体の保健事業に関わりたいと思い栗山町に就職しました。多様に変化する社会で暮らしている人々の健康を支えるため、大学院での学びを基に、地域と向き合いながら保健活動を行いたいと思います。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

博士後期課程

高度な専門知識と倫理観を備えた
教育者と研究者を育成します。

看護学専攻 博士後期課程は、高度な専門的知識と倫理観に基づき、研究能力、教育力、看護実践の創造、変革力を備えた教育者と研究者を育成します。札幌市への人口・経済の一極集中と、地方の人口減少・過疎化という深刻な健康及び社会の課題を抱える北海道において、看護の視点からの高度な研究能力、教育・指導力、看護の開発力を持ち、地域の看護・保健医療の改革に携わる人材の育成が急務となっています。また、慢性的に不足する地域の保健医療・教育の現場で活躍する教員・指導者の能力向上に貢献します。

教育課程は、コースワークの学びを効果的にリサーチワークに活かし、段階的、計画的に博士論文が作成できるよう基盤科目、専門科目、研究指導科目を配置しています。また、学生の研究テーマ及び専門領域によって科目を選択し、研究課題、研究方法の検討に活用できるよう、学術的かつユニークな科目が用意されています。

ディプロマ・ポリシー

- ・高度な専門的知識、技能を有し、教育研究を通して指導的な役割をとる
- ・人々の健康や看護実践に関わる課題を専門的に探究し、解決に導く研究を計画、実施する
- ・人々の健康課題を解決し、看護学の発展へと導く看護実践の理論と技法を開発する
- ・保健医療の現場の変革を目指して社会に働きかける態度・資質を有している
- ・高い倫理観と専門職としての責任感を持ち、研究に主体的に自律して取り組む

カリキュラム・ポリシー

- ・コースワークを基盤にリサーチワークを発展させられるよう、系統的に「基盤科目」「専門科目」「研究指導科目」の科目区分を設置しています。
- ・高い倫理観に基づく研究者・教育者の育成のため、基盤科目に「生命倫理特論」を必修科目として設置しています。
- ・高度な専門知識と研究能力をもち、研究を通して看護及び保健医療の課題を解決する能力を修得するため、基盤科目に「質的研究方法論」「疫学的研究方法論」「データサイエンス演習」「分子生命医学特論」を設置しています。
- ・研究課題につながる地域の保健医療、看護実践の状況を多様な視点から専門的知識、理論に基づき科学的に分析し、人々の健康課題を解決し新たな看護を開発する能力を育成する科目として、専門科目に「地域基盤看護学特論」「実践看護学特論」を設置しています。また、特論で分析した健康課題や看護実践上の課題を、さらに文献検討及び討論を重ね研究課題へと焦点化する科目として「地域基盤看護学演習」「実践看護学演習」を設置しています。
- ・看護学研究を自律して計画的に推進する能力を修得するため、各学年に「看護学特別研究I」「看護学特別研究II」「看護学特別研究III」を設置し、複数の指導教員により研究の一連の過程を連続的、段階的に指導いたします。

カリキュラム

区分	科目	
基礎科目	生命倫理特論 看護理論とその開発 疫学的研究方法論	質的研究方法論 データサイエンス演習 分子生命医学特論
専門科目	地域基盤看護学特論 実践看護学特論	地域基盤看護学演習 実践看護学演習
研究指導科目	看護学特別研究I 看護学特別研究II	看護学特別研究III

〈修了要件〉14単位以上

栄養管理学専攻

博士前期課程 博士後期課程

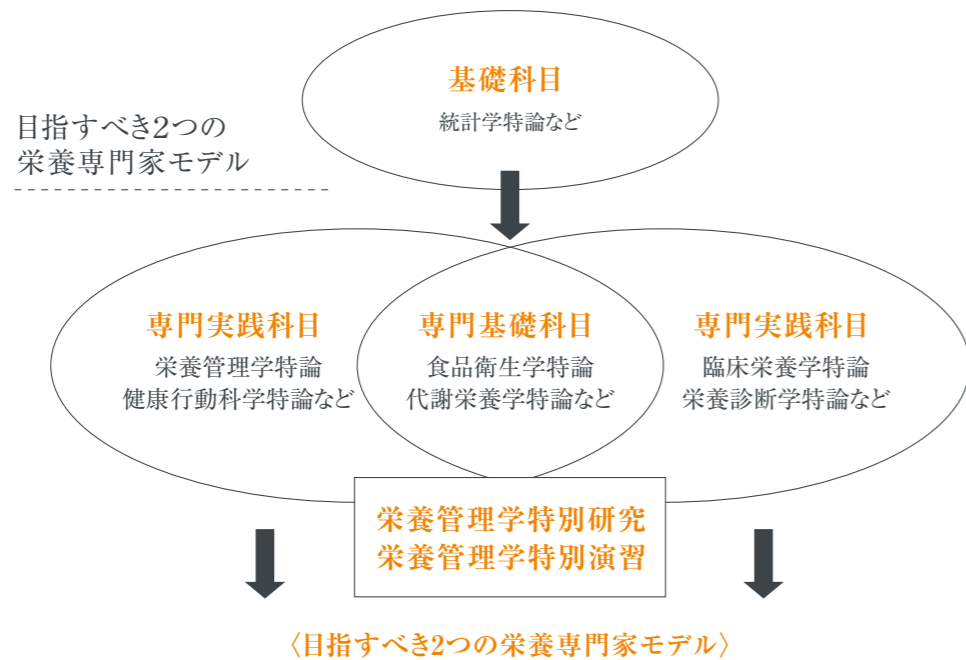
博士前期課程〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(栄養学) 〈入学定員〉3名

博士後期課程〈修業年限〉3年 〈学位〉博士(栄養学) 〈入学定員〉2名

博士前期課程

〈取得可能資格〉栄養教諭専修免許状(選択)

学士課程で展開した栄養学教育を基礎としながら、「**人間栄養学**」のエビデンス(科学的根拠)に基づいたシステムティックな栄養管理を実践できる卓越した専門性を有する管理栄養士の育成を目指します。本課程に出願するためには**栄養士免許**が必要です(取得見込みも可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。



地域社会で健康づくり・生活の質の向上を支援する栄養専門家

地域社会において、栄養に関わるエビデンスの還元、改善計画立案・実施・評価などを実践する専門職業人を目指す。

医療・福祉の分野で傷病者を支援する臨床栄養専門家

チーム医療などに参画し、他職種と協働して高度な栄養管理能力を有する専門職業人を目指す。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付けるために、両専攻共通科目である倫理学特論、人間関係論特論を配置した。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付けるために、医療情報・医療経済、地域ケアシステム論、環境保健学、健康社会学、医療人類学特論を設置した。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶために、健康行動科学特論、ヘルスカウンセリング論、国際保健学特論、国際保健学特論演習を配置した。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶために、統計学特論、疫学、研究方法論特論を配置した。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養うために、食品衛生学特論、代謝栄養学特論、栄養管理学特論、健康・食行動理論、臨床栄養学特論等の専門基礎科目・専門実践科目を配置した。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養うために、栄養管理学特別研究、栄養管理学特別演習を配置し、個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ルーブリックを導入し、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム

区分	科目		
基礎科目	倫理学特論 統計学特論 疫学	人間関係論特論 研究方法論特論 医療情報・医療経済	国際保健学特論 国際保健学特論演習
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品機能学特論 栄養生理学特論	代謝栄養学特論 地域ケアシステム論 ヘルスカウンセリング論	環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論	健康・食行動理論 健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論	臨床栄養学特論 栄養管理学特別研究 栄養管理学特別演習

〈修了要件〉30単位以上



在学生

栄養管理学専攻
博士前期課程 1年次

自分の将来への投資

天使大学看護栄養学部を卒業し、その後、栄養管理学専攻に進学しました。元々スポーツ栄養学に興味があり、栄養学科へ入学し、在学中は勉学に励んでいました。大学3年になり、自分の進路について考えていましたが、将来のビジョンが漠然としており悩んでいました。その際に、「一番後悔しない道はなんだろう」と先生方へ相談し、考えを擦り合わせていきました。その結果、栄養学の学びや卒業研究のスポーツを行う高校生に対し栄養指導をした経験から、大学院で栄養学の知識を深め、研究をさらに進めたいという思いで大学院への進学を決めました。

大学院では、より専門的で学術的な講義を受講することが可能なため、大変有意義で貴重な時間となっています。そして、自分の研究テーマを追究することができ、これも講義と同じように知識を深めることができると感じています。大学院生は学部生の時より忙しくなりますが、その分専門職としての知識を深めることができ、将来自らの力になるだろうと感じています。

将来は、大学院での経験を活かし、スポーツを行う全ての人が栄養学をより身近に感じられるような取り組みを行うことが目標です。

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

教職課程(栄養教諭専修免許状)

食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食をとらないなど子どもの食生活の乱れが指摘されており、子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて自ら判断し、食をコントロールしていく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせることが必要となっています。

このため、食に関する指導(学校における食育)の推進に中核的な役割を担う栄養教諭は、地方公共団体や設置者によって配置され、食に関する指導と給食管理を一体のものとして行うことにより、地場産物を活用して給食と食に関する指導を実施するなど、教育上の高い相乗効果をもたらしています。(文部科学省「栄養教諭制度の概要」参照)

本学の栄養管理学専攻博士前期課程においては、次の科目を修得することにより栄養教諭専修免許状を取得することができます。

栄養教諭専修免許状取得に必要な科目および単位数

区分	科目	
基礎科目	疫学	医療情報・医療経済
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品機能学特論	栄養生理学特論 代謝栄養学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論 健康・食行動理論	健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論 臨床栄養学特論 栄養管理学特別演習

上表の栄養管理学専攻博士前期課程開講科目24単位以上の修得が必要となります。

藤女子大学との大学院間の 単位互換制度を開設しています。

相互の交流および協力の促進と教育の充実を図ることを目的として、単位互換に関する協定を締結しています。これにより、藤女子大学大学院人間生活学研究科において指定の科目の単位を修得した場合には、本学の授業科目に振り替えて単位を授与することができます。

単位互換対象科目(2022年度)

藤女子大学大学院で履修できる科目	左記科目の本学大学院単位振替科目
食品品質学特論I 食品品質学特論III 公衆栄養学特論I	食品機能学特論 健康栄養エビデンス論

博士後期課程

栄養管理学専攻博士後期課程は、人を対象とした人間栄養学の基礎的及び実践的(応用的)研究を通して、ライフステージや環境、あるいは疾病罹患時における生体機能の変化などを的確に把握し、断片的かつ拡散している高度な「栄養」の専門知識を統合理解することで、今日の栄養学的課題を明らかにし、それらの解決の具体的方策を探り、自立して教育・研究を行い、社会に貢献する人材を育成します。

※長期履修学生制度の利用ができます。

ディプロマ・ポリシー

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をととして課題解決の方法を提示できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・保健・医療・福祉に貢献するために、専門的かつ高度な教育と研究方法の学びを通して、栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付ける科目として研究方法特論を配置した。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行う能力を養うために、基礎系と実践系に体系化し、基礎系栄養管理学特論、実践系栄養管理学特論を配置した。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究を博士論文としてまとめ、課題解決の方法を提示できる能力を養うために、基礎系栄養管理学特別研究と実践系栄養管理学特別研究を配置し個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ループリックを導入し、年に2回、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム

区分	科目	
共通	研究方法特論	
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論	基礎系栄養管理学特別研究
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	実践系栄養管理学特別研究

(**修了要件**)18単位以上



専門職は“一生勉強”

大学卒業後は、介護老人保健施設や病院での勤務を経験し、大学の助手として勤務していました。学生のサポートをしていく中で、自分の経験だけでは不足していると感じ、さらに深く学ぶ必要があると感じました。天使大学大学院栄養管理学専攻博士前期課程に入学して、大学院の先輩や同期、他の専攻の方など様々な勤務経験のある方々と一緒に学び、時にディスカッションをすることで、知見を広げることができました。

その後、博士前期課程を修了し、他大学の講師として勤務しています。現在は栄養教育分野の講義や実習を行っています。しばらくは、慣れない大学教員業務に邁進していましたが、さらに高度な研究能力を養うため、2年前に博士後期課程に進みました。現在、食育に関する活動も行っていることから、博士後期課程では食育に関する研究を行っています。やはり、学生を教育しながら研究するということはなかなか難しいところもあり、長期履修制度を活用しています。大学時代に“一生勉強”という言葉をいただきましたが、時代の変化に対応しつつ、未来の管理栄養士にも伝えられたらと思います。

在学生

天使大学大学院看護栄養学研究科
栄養管理学専攻博士後期課程 3年次
(天使大学看護栄養学部栄養学科 2005年卒
天使大学大学院看護栄養学研究科
栄養管理学専攻博士前期課程 2017年修了)
※北海道文教大学人間科学部健康栄養学科 講師

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

両専攻

論文テーマ（一部抜粋）

<p>看護学専攻 修士課程</p> <p>修士論文コース</p> <p>基礎看護学領域 (2023年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスを基盤とした看護実践における卒後2年目看護師の患者理解と個別性にアプローチする能力獲得の課程 <p>成人看護学領域 (2019年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術を受けた頭頸部がん患者の社会復帰に向けた生活体験の経路 ・就労可能年齢にある進行大腸がん患者の診断時から初回治療開始前における就労に関する体験 <p>精神看護学領域 (2022年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師長が行うラインによるケアの実態とケアの促進に影響を及ぼす要因の検討 <p>公衆衛生看護学領域 (2015年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅期にある保健師の地域を活動の対象と捉える理解とそれに影響する経験 ・1歳6か月児健康診査にて精神発達が要経過観察となった2歳児をもつ母親の「育てにくさ」の認識 <p>高度実践看護師コース</p> <p>ホスピス緩和ケア看護学領域 (2015年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で臓臓がん患者を看取った家族介護者の体験 ・終末期がん患者の在宅移行を支援する病棟看護師の困難感 ・終末期がん患者の家族介護者が在宅での看取りを意思決定していく過程～最期の場所を決めずに在宅療養を開始した事例～ ・外来化学療法を受けながら就労を継続する壮年期男性造血器腫瘍患者の体験 ・一般病棟看護師の積極的治療中止期にあるがん患者への意思決定支援におけるコミュニケーションの体験 <p>老年看護CNS学領域 (2022年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟看護師による高齢患者の聴覚評価の実態 <p>保健師コース (2019年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労している中高年女性の加齢に対する適応 ・共働き世帯における父親の幼児期後期の子どもの食への関わりの実態とその関連要因 ・壮年期にある潜在性結核感染者の内服の継続における体験 ・全身性エリテマトーデス (SLE) 女性療養者の療養と育児における体験 ・在日外国人女性の子育てを通じた親としての発達 ・新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限下での後期高齢者の生活 ・北海道胆振東部地震後の高齢者の災害の知識・意識と備えの関連 ・ヤングケアラーとして身体障がいを持つ家族のケアを担ったことのある者の生活体験 ・精神疾患を有する女性が母親になる体験
--

栄養管理学専攻

博士前期課程 (2016年度～)

- ・血液透析患者における透析中の運動療法による栄養状態の変化を踏まえた栄養管理の検討
- ・若年女性における体格と代謝に関する探索的研究
- ・地方在住高齢者の生活習慣病重症化予防における訪問栄養食事指導の効果検証
- ・統合失調症入院患者における栄養状態と身体計測の有用性についての検討
- ・看図アプローチを活用した食に関する指導の教材開発・授業開発
- ・健常者における夕食のみの低炭水化物食の影響
- ・低アミロース米を用いた嚥下用米粥ゼリーの物性に関する研究
- ・マラソンによる好中球増加とマイオカインの動態
- ・高齢者施設における嚥下食対応に関する研究
—高齢者世勤務管理栄養士・栄養士を対象とする実態調査—
- ・保育所における食物アレルギーの対応に関する研究
～保育所における食物アレルギー対応食の実態及び給食責任者の意識調査～
- ・病院給食提供業務における問題分析と管理栄養士の給食運営能力向上のための検討
—ISM法による階層構造図の構築とMICMAC分析による解釈—
- ・糖尿病患者における概日リズムと疾患コントロールの関連

博士後期課程 (2010年度～)

- ・COVID-19流行下における遠隔支援によるフレイル予防のための筋力トレーニングと栄養指導が地域在住日本人高齢者の身体組成と筋力に及ぼす影響
- ・北海道産ダッタンソバとタマネギのα-グルコシダーゼ阻害活性に関する研究
- ・腎移植患者における食事摂取量等の実態と栄養指導上の課題
- ・2型糖尿病患者に対するトランスセオレティカルモデルに基づく栄養指導の効果
- ・ハスカップ茶の創製とその飲用によるストレス軽減並びに自覚的睡眠感の改善
- ・就学前の子どもを育てる母親に対する継続食育教室の検討
- ・ヒトでの食後熱産生と褐色脂肪組織
- ・メタボリックシンドローム危険因子からみた食行動変容の構造と病態改善の関係

論文提出学位論文 (2013年度～)

- ・運動と食行動変容支援による体力とメタボリックシンドロームの改善：天使健康栄養クリニックにおける実証研究
- ・ヒト褐色脂肪組織の体脂肪調節への関与と黒ショウガ抽出物による活性化に関する研究
- ・ヒト褐色脂肪組織でのエネルギー消費と体脂肪に対する天国の種抽出物摂取の効果
- ・我が国の乳牛および肉牛におけるリステリア菌の分子疫学的研究

教員紹介

公式ホームページをご覧ください。

<p>看護学専攻 博士前期課程</p> 	<p>看護学専攻 博士後期課程</p> 	<p>栄養管理学専攻 博士前期課程</p> 	<p>栄養管理学専攻 博士後期課程</p> 
---	---	---	---

働きながら大学院に通いたい方へ

看護栄養学研究科では大学院設置基準第14条の「教育方法の特例」を適用し、職業を有しながら大学院の教育課程を履修できるよう、一部の科目で平日夜間及び土曜日の科目開講を行っています。また遠隔地の学生へ配慮して、遠隔授業も一部の科目で実施しています。さらに必要があれば長期履修学生制度 (17ページ) を活用することもできます。

就職先等 (2012年度～ 一部抜粋)

看護学専攻 修士課程

修士論文コース

基礎看護学領域

- ・札幌保健医療大学

成人看護学領域

- ・天使大学 ・札幌保健医療大学

精神看護学領域

- ・札幌西円山病院 ・旭山病院

公衆衛生看護学領域

- ・札幌市 ・厚真町 ・北海道立子ども総合医療・療育センター

高度実践看護師コース

ホスピス緩和ケア看護学領域

- ・札幌厚生病院 ・東札幌病院 ・札幌禎心会病院 ・ホームケアクリニック札幌 ・がん研有明病院
- ・大阪国際がんセンター ・KKR札幌医療センター ・札幌清田病院

老年看護CNS領域

- ・札幌西円山病院 ・札幌徳洲会病院

保健師コース

- ・北海道 ・札幌市 ・江別市 ・千歳市 ・伊達市 ・当別町 ・洞爺湖町 ・南富良野町 ・清水町 ・中頓別町
- ・神奈川県平塚市 ・神奈川県厚木市 ・朝日新聞健康保険組合 ・KKR札幌医療センター

栄養管理学専攻

博士前期課程

- ・旭川市 ・北海道教育委員会 (栄養教諭:道内小・中学校等) ・天使大学 ・藤女子大学 ・酪農学園大学 ・北海道文教大学
- ・名寄市立大学 ・医療法人 愛全会 ・NTT東日本札幌病院 ・北星病院 ・栗山赤十字病院 ・石狩ファミリアホスピタル
- ・株式会社明治 北海道支社 ・札幌産科婦人科病院

博士後期課程

- ・藤女子大学 ・天使大学 ・JCHO仙台病院

※教育課程の変更により、看護学専攻内の名称を新しいものとしています。

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、標準の修業年限で大学院の課程を修了することが困難な場合、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修するための制度です。

対象者

職業を有する等の事情により、標準の修業年限での大学院の教育課程の履修が困難な院生が対象です。ここで言う、「職業を有する等」とは、仕事(正規雇用、非正規雇用などの雇用形態を問わない就業)や家事・育児・介護などの事情により、フルタイム学生としての修学が困難な状況にあることを言います。

看護学専攻および栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)いずれも対象となります(ただし、保健師コースは対象となりません)。

修業年限

[修士課程および博士前期課程] 3年または4年

[博士後期課程] 4年、5年、6年から選択

授業料

[修士課程および博士前期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の2倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

[博士後期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の3倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

「長期履修学生制度」を利用した納入例

栄養管理学専攻(博士前期課程)の合格者で、長期履修学生制度を利用し、「4年」の履修期間が認められた場合(カッコ内の金額は、天使大学・天使女子短期大学卒業生の場合)

(修了までに必要な授業料等 980,000円/年(880,000円/年)×2年間=1,960,000円(1,760,000円))
 (長期履修学生制度を利用した場合の年間授業料等 1,960,000円(1,760,000円)÷4年間=490,000円/年(440,000円/年))

初年度納入金	種別		入学手続時	後期	年額合計
	*入学金		150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料		150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	300,000 (300,000)	
施設設備資金		50,000 (25,000)	50,000 (25,000)	100,000 (100,000)	
実験実習料		45,000 (45,000)	45,000 (45,000)	90,000 (90,000)	
*同窓会費		—	50,000 (0)	50,000 (0)	
合計		395,000 (220,000)	295,000 (220,000)	690,000 (440,000)	

(単位:円)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。

2 ~ 4 年目の 納入金	種別		前期	後期	年額合計
	授業料		150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	300,000 (300,000)
施設設備資金		50,000 (25,000)	50,000 (25,000)	100,000 (100,000)	
実験実習料		45,000 (45,000)	45,000 (45,000)	90,000 (90,000)	
合計		245,000 (220,000)	245,000 (220,000)	490,000 (440,000)	

(単位:円)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
- 2.年額を一括納入することができます。

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合の手続きについて

- ・申請手続きは合格後に行います。希望者は、合格通知書に同封する「長期履修学生申請書」、「長期履修計画書」に必要事項を記入の上、期日までに提出してください。
- ・本研究科による審査の結果、長期履修が認められた場合、その旨を連絡します。その後、指示にしたがって「授業料等」を納入してください。長期履修を希望する場合、その審査結果の連絡を受けるまでは、「授業料等」を納入しないでください(「入学金」は期日までに納入してください)。

学費・奨学金 本学卒業生の学費が減免されます

納入金

看護学専攻(博士前期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	480,000 (340,000)	480,000 (340,000)	960,000 (680,000)
実験実習料 <small>保健師・高度実践看護師コースのみ</small>	25,000 (25,000)	25,000 (25,000)	50,000 (50,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	655,000 (365,000)	555,000 (365,000)	1,210,000 (730,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。(入学金、授業料、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 6.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

看護学専攻(博士後期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	340,000 (340,000)	340,000 (340,000)	680,000 (680,000)
実験実習費	—	—	—
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	490,000 (340,000)	390,000 (340,000)	880,000 (680,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生、天使大学大学院修了生の納入額です。(入学金、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 6.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

栄養管理学専攻(博士前期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備資金	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習料	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 5.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

栄養管理学専攻(博士後期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備資金	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習料	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

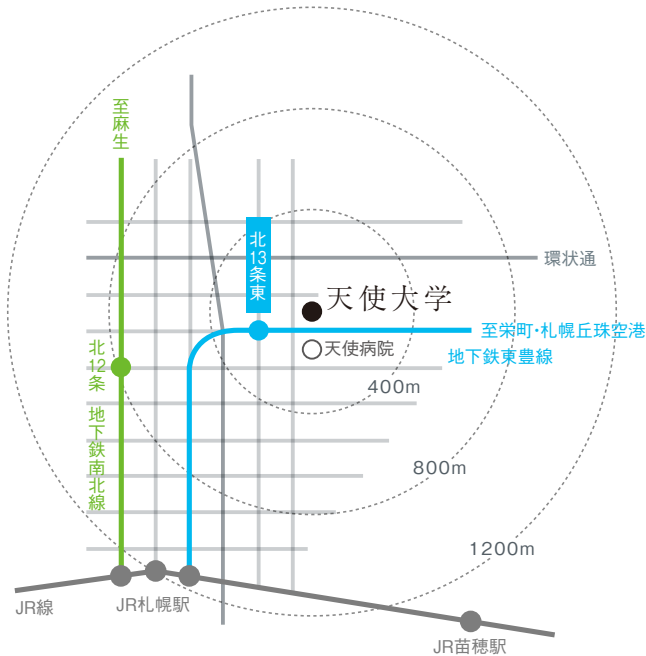
- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生、天使大学大学院修了生の納入額です。(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 5.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

奨学金

(単位:円)

種類	月額/年額	金額	備考	
日本学生支援機構奨学金	第一種	月額	修士課程 50,000または88,000 博士課程 80,000または122,000	無利子貸与
	第二種	月額	50,000/80,000/100,000/ 130,000/150,000	有利子貸与
天使大学貸与奨学金	月額	30,000または50,000	無利子貸与 経済的に修学困難な者に対し貸与	
天使大学同窓会給付奨学金	年額	100,000	経済的に非常に困窮し、成績優秀な者に対し給付	

- ※1:上記の他にも、地方自治体や各種団体等の奨学金があります。必要な場合には各自で出身地の都道府県や市町村の教育委員会等にお問い合わせください。
 ※2:奨学金に関する詳細は、本学学務課学生担当までお問い合わせください。Tel:011-792-9204(直通)



Access [交通アクセス]

[札幌駅から]

- ◆地下鉄東豊線「北13条東」駅1番出口より東へ徒歩3分
- ◆地下鉄南北線「北12条」駅2番出口より東へ徒歩15分
- ◆JR札幌駅北口からタクシーで5分 徒歩20分

[札幌丘珠空港から]

- ◆地下鉄東豊線で40分

[苗穂駅から]

- ◆タクシーで8分 徒歩30分

[新千歳空港から]

- ◆JRで札幌駅まで37分

大学院 看護栄養学研究科

会場: 天使大学 | 対象者: 本学への受験を希望する方

看護学専攻

オープンキャンパス

- 博士前期課程
- 保健師コース

6.15^土

8.4^日

個別相談会

- 博士前期課程
- 保健師コース
- 修士論文コース
- 高度実践看護師コース
- 博士後期課程

6.15^土

8.4^日

9.21^土

栄養管理学専攻

個別相談

- 博士前期課程
- 博士後期課程

8.3^土

説明会・個別相談会

- 博士前期課程
- 博士後期課程

8.9^金
[午前]

※事前申込みをお願いします。
詳細はホームページをご覧ください。
このほかに平日の個別相談についても受け付けます。



※コロナ感染状況により、変更(中止延期等を含む)する場合があります。お知らせはホームページにて行います。



天使大学

看護栄養学部 / 看護学科・栄養学科
大学院 / 看護栄養学研究科

看護学専攻
栄養管理学専攻
助産研究科 助産専攻(専門職学位課程)

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

tel.011-741-1051 fax.011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2019.4-2026.3

